

「Takatsuki Art Challenge -創造するチカラー-」開催概要

本展は、障がいのある人の文化芸術活動の推進を目的として、高槻市が開催する初めての展覧会です。高槻市在住の6人の作家による個性豊かな絵画作品を一堂に展示し、あわせて創作活動の背景を紹介します。多彩な感性と表現力で描かれた作品を通じて、障がいのある人の文化芸術活動への理解が深まり、その活動がより一層広がるとともに、本展が様々な人の出会いの場、交流の場、つながりの場となり、文化芸術活動を幅広く推進する契機となるよう取り組みます。

展覧会の概要

- (1) 日 時：令和3年7月1日（木）～7月4日（日）の4日間 ※観覧無料
10:00～17:00（最終日 7月4日は16:00まで）
- (2) 場 所：安満遺跡公園 歴史拠点体験館 多目的スペース
大阪府高槻市八丁畷町12-3
- (3) 内 容：市内在住作家6人の絵画作品（27点）を展示し、創作活動の背景を紹介。

出展者紹介



猪野 兼士
作品名：何しよっかなあ～
略 歴：高槻市美術展覧
会入選 他多数



加地 英貴
作品名：gold on red
略 歴：現代アウトサイダー
アートリアル他多数



大同 美香
作品名：うろこ館
略 歴：絆 展他
個展の開催多数



中國 晋
作品名：キャンプファイヤー
略 歴：「ビッグ・アイ・アート
プロジェクト」公募展 入選 他



村井 知香子
作品名：昇守龍（三つの魂）
略 歴：国際美術大賞展
特別賞 他多数



村濱 正博
作品名：阪急マルーンカラーの風Ⅱ
略 歴：産経二科大阪展ポストカード
デザイン 大賞入選 他

Takatsuki Art ~創造するチカラ~ Challenge

日時

2021.7.1 (木) →4 (日)
10:00-17:00(最終日16:00まで)

場所

安満遺跡公園歴史拠点
体験館多目的スペース

主催

高槻市、高槻現代劇場

出展作品一覧

作家名	タイトル	制作年	サイズ	技法
猪野 兼士	何しよっかなあ~	2005	1120×1455	油絵具、キャンバス
	ペコペコツペパア~ン	2008	920×727	油絵具、キャンバス
	天高く、	2014	1120×1455	油絵具、キャンバス
	Happy!!	2019	540×380	アクリル絵具、カラーボールペン、色鉛筆、紙
加地 英貴	gold on red	2017	727×1000	色鉛筆、紙、木製パネル
	silver on sky blue	2017	727×1000	色鉛筆、紙、木製パネル
	geranium red,yellow green,lemon yellow,rose pink	2020	727×1000	色鉛筆、紙、木製パネル
大同 美香	ピサの斜塔	—	606×455	油彩、キャンバス
	荒巻バラ園	—	530×652	油彩、キャンバス
	フィレンツェの大聖堂	—	606×455	油彩、キャンバス
	うろこ館	—	530×652	油彩、キャンバス
	夕陽の海	—	380×455	油彩、キャンバス
	ひまわり達がお出迎え	—	652×910	油彩、キャンバス
中園 晋	日記帳	1980頃	370×300	色鉛筆、紙
	ライオンとふしぎなななかま	2012	520×770	ポスターカラー、ボード
	キャンプファイヤー	2013	530×650	アクリル、ポスターカラー、ボード
	マヤの遺跡とジャガーの土器	2014	515×730	アクリル、ポスターカラー、ボード
村井知香子	阿久刀神社	2012	370×495	切り絵、和紙
	深緑の善峰寺	2013	370×495	切り絵、和紙
	鬼神	2014	735×555	切り絵、和紙
	天龍寺道中	2015	360×505	切り絵、和紙
	昇守龍(三ツの魂)	2017	980×350	切り絵、和紙
	樹勢	2018	550×730	切り絵、和紙
村濱 正博	阪急マルーンカラーの風Ⅰ	2020	400×520	水彩、画用紙
	阪急マルーンカラーの風Ⅱ	2020	400×520	水彩、画用紙
	あじさい	2020	400×520	水彩、画用紙

中園 晋 (なかその しん)
(Shin Nakazono)



1967 年生まれ
ボーダレスアート教室
「わんだーぼっくす」所属

中園晋さんは、父親が絵に親しんでいたことから絵を描き始めました。自閉症で言葉を発しない中で、中学生時代からは絵日記をつけるようになり、その絵日記は、母親にとって、学校での様子を知る大切なコミュニケーション手段でした。絵日記や「キャンプファイヤー」に描かれている学校で友達と過ごした時間は、今でも鮮明に残っていることが伺えます。

現在は、月に2回のアート教室で創作活動を行っています。絵を描くことや自らの作品について、彼の口から語られることはほとんどありません。しかし、教室に欠かさず通い、熱心に創作に取り組む様子から、アート教室での時間をとても大切にしていることが伝わってきます。

教室の時間が始まると目の前の画用紙に一心に向かい、何かに突き動かされるように、黙々と手を動かします。迷いのない筆運びと色選びで、頭に浮かぶ動物やキャラクターたちを次々に描き出します。

パタンダ (PATANDA) と名付けられ槍を手に持つ蜂のようなキャラクター、困ったような表情のライオン、点描で表現された炎のゆらぎ。どこかユーモラスで、不可思議な動物やキャラクターたちの世界が立ち上がります。

略 歴

主な受賞歴

- 2013年 ビッグ・アイ アートプロジェクト公募展 入選
- 2012年 ビッグ・アイ アートプロジェクト公募展 上田バロン賞

主なグループ展

- 2012~2020年 ボーダレスアート展「はてしない創造力-こころの景色-」ほか
- 2013年 「韓中日障がい者国際美術交流展」 韓国ソウル市立美術館 (韓国)
- 2012年 「共振×響心 2012 ありのままの生は美しい」 Bunkamura Box Gallery (東京) ほか

村濱 正博 (むらはま まさひろ)
(Masahiro Murahama)

1978 年生まれ
ボーダレスアート教室
「わんだーぼっくす」所属



村濱正博さんは、祖母が絵を描いていたことから、自然にアートに触れる環境のなかで育ち、高校では3年間美術デザインを専攻しました。

自閉的傾向と感覚過敏障がいがあり、現在は就労継続支援事業所に通所しながら、月2回のアート教室に通っています。

代表作(受賞作)は、ポストカードサイズの小さな画用紙に、細部まで丹念に描き込んだ電車や駅ホームのイラストです。写真を撮るように対象をそのまま描いているわけではありませんが、特徴をとらえた線描と鮮やかな彩色で、その情景がくっきりと浮かび上がります。

繰り返し現れる電車のモチーフ、緻密に描き込まれた作品からは、乗り物に対する深い愛情やこだわりが感じられます。

創作のスタイルは、熟考派。悩みながら、でもどこか楽しそうな様子で、時間をかけて、根気よく丁寧に描いていきます。

自宅でも創作活動を行い、風景画や花など、作品の幅が大きく広がっています。

略 歴

主な受賞歴

2015年 産経二科大阪展 ポストカードデザイン大賞 入選

2014年 産経二科大阪展 ポストカードデザイン大賞 入選

1994年 奈良県ジュニア美術展覧会 入選

主なグループ展

2012~2020年 ボーダレスアート展「はてしない創造力-こころの景色-」ほか